

内部質保証推進委員会「第3期大学評価(認証評価)後の改善課題」改善策等について
(令和5(2023)年度 第3回 内部質保証推進委員会 2023/10/13審議決定)

| 【全学自己評価実施委員会】最も改善が必要である区分・目標・具体的計画を記載してください。【一つ | 【全学自己評価実施委員会】上記を選択した理由や改善すべき点を記入してください。 | 該当各部局自己評価実施委員会 | 内部質保証推進委員会改善指示 | 内部質保証推進委員会改善指示内容 |
|---|---|---------------------------------------|-------------------|---|
| NO.20 | 「指摘された課題」にある「促進策」と「検証」につながる具体的な改善策・目標が示されていない。 | 教務委員会 大学教育センター | 至急改善 or 再提出 | 具体的な改善策・目標を設定していない場合は、早期に各部局自己評価実施委員会にて検討し、次年度計画に包含すること。 既に具体的な改善策・目標が設定されている場合は、再提出すること。 |
| No21 | 担当が各学部実施委員会、大学院研究科実施委員会となっているが、【2019年度実地調査以後の状況】の内容に教務委員会が「整合性は内部質保証委員会で検討をお願いしたい」と記載後、検証がなされていない。内部質保証推進委員会での検討でもないと思うが、担当を明確にし検証が必要ではないか。 | - | 至急検討 | 各学部実施委員会、大学院研究科実施委員会において、全学の学位授与方針の示す領域分類の異なるものについて検証を開始すること。 検証後は基本事項検討委員会にて審議すること。 |
| NO.24 | 「履修要綱以外の周知方法については、ガイダンス内容を検討する際に、効果的な方法を検討する。」とあるが、具体的ではないと思われる。イントラネットで周知する等具体的な方策を検討していると記載されたほうがいいのではないか。 | 教務委員会 各学部実施委員会 | 再提出 | 検討している具体的な方策を記述し再提出すること |
| No. 24 | 18歳人口の減少を考えると、これまでより学習経験が乏しく、また、学習意欲が高くない学生が増えることが予測される。卒業要件の重要な項目である学位論文の審査については、それぞれのゼミ指導者に任されており、良い意味でも悪い意味でも基準が多様である。特に学習意欲の高くない学生に対して、入学時より明確な基準を伝え、その達成に向けて4年間の学修に取り組めるようにすべきと考える。教員間の合意形成が非常に難しいと思われるが、できるだけ明確に提示するように努力しなければならない。 | 教務委員会 各学部実施委員会 | 検討 | 学位論文の基準について、一度教務委員会で検討すること |
| NO.48 | 社会連携委員会を部局の自己評価実施委員会として、事業計画、年度途中の進捗状況および事業実施結果の確認と評価を行い、内部質保証推進委員会に報告するとともに、課題の洗い出し、改善について検討を行った。 とあるが、課題の洗い出し、改善について検討した根拠資料が示されておらず実態が不明。同様にNO.50も。 | 社会連携委員会 | 再提出 | 課題の洗い出し、改善について検討した内容を記述し、根拠資料とともに提出すること |
| NO.52 | 国際交流的な社会連携を改善するのであれば、広東外語外貿大学や対外経済貿易大学との国際シンポジウムを大学全体に広げるため、今後、全学部の教員や学生が関われる内容で実施を検討する。 | 大学院研究科実施委員会 (国際交流委員会) (社会連携委員会) | 検討 | 該当部局自己評価実施委員会以外の担当各部局自己評価実施委員会間にて協議を開始すること 広東外語外貿大学や対外経済貿易大学との国際シンポジウムについては現在大学院運営委員会にて実施されているが、全学自己評価実施委員会からの指摘について一度検討し、必要があれば国際交流委員会に要請すること。 |
| NO.53 | 「生涯学習の充実」について、現状実施されている公開講座をはじめとする生涯学習プログラムの質、量ともに不足していると考えられる。公開講座開催をはじめとする生涯学習の充実、活性化により、大学の知の開放、地域社会貢献という第一の目標達成のみならず、本学にとって①「広報効果」②「ネットワーク構築効果」③「学生・教員に対する教育効果」等の様々なプラス効果を生み出すことが可能であると考えられる。今後は社会人の学び直し、大学のブランド化を目的とした講座の開催、高大連携事業としての高校生対象の公開講座といった時代の要請や本学独自の戦略をベースとした生涯学習プログラムの実施に関しても積極的に検討すべきものとする。 | 社会連携委員会 学術情報委員会 教務委員会 | 検討 | 担当の各部局自己評価実施委員会間にて協議し検討すること |

※全学自己評価実施委員会からの指摘にあった本学の戦略的施策に関する項目1点について、公表を割愛しております。